

事業名	ゆっくり進むパソコン教室
実施主体	シニアネットはまだ
県担当課	情報政策課

事業の成果

事業の目的 [IT普及]

ITを活用しての豊かな高齢社会の実現を目指す。

- シニア向けのパソコン教室の開催
- パソコン講師、サポーターの養成
- シニア向けのパソコン教材の開発
- 小地域パソコン教室の立ち上げ支援

事業の内容

- ゆっくりすすむパソコン教室やITサロンなどで、高齢者向けIT講習会を実施し、延べ3,400人の受講者があった。
- 講師支援グループをつくり、テキスト作りの支援、講座の持ち方の助言を行い、パソコン講師やサポーターの養成を行った。
- 3カ所、延べ7回にわたり、パソコングループ立ち上げのための講師派遣を行った。
- 教材用CD、テキスト作成を行った。

**目的の達成状況** [十分達成できた]

- 高齢者向けのIT講習会を開催することにより、広く高齢者にIT技術を普及することができた。
- 「あなたもICTリーダー」をキャッチフレーズにし、講師支援グループをつくり、テキスト作りの支援、講座の持ち方の助言を行うことにより、多くの講師・サポーターが育ちつつある。
- 旧町村のパソコン教室立ち上げは、町村合併による選挙や行事、大雪のためできなかった。

反省点・改善点 [特にない]

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施しなかった]

- 補助金はいただいたが、それ以上のものは得られなかった。

県との協働効果 [概ね効果があった]

- 実績が高まったことにより、西部情報化センターが、今まで以上に協力的になり、出前用のパソコンを優先して貸与してもらうことが出来るようになった。
- 県が助成しているということで、社会的に認知してもらえた。
- 自分たち自身が立ち上がらねば、道は開かれないという意識が高まった。

県への要望事項

- 県も忙しいであろうが、一緒に知恵と汗を出す機会を作らなければ、本当の協働にならないと思う。

反省点・改善点

- 行政依存の意識の強い人が多いので、意識改革しなければならない。

市町村との協働 [協働して実施した]

- パソコン教室を開催する際に、浜田市の施設の貸与を受けた。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- 会員も増え、講師、サポーターが育ち、人材の育成が軌道にのりつつある。
- シニア教材も充実してきた。
- 新しい高齢者用の魅力ある教材開発を行い、皆さんに提供したい。
- 県下のシニアパソコン教室とのネットワークを構築し、連携して IT を活用した豊かな高齢社会を構築したい。

事業の継続状況 [助成を受けずに継続実施している]

- 会費(年4000円)で運営している。
- 富士通寄贈分パソコン10台は、継続して貸与してもらっている。

協働による発展 [協働により発展できる]

SNSやブログ対応のパソコン教室の立ち上げのための勉強会講師旅費教材費助成。

